

六郷

～元気に輝いて～



令和5年度
第22号
2023. 7.6

子どもたちの経験を深める外部講師を招いての学習や体験活動⑦

【4年「認知症サポーター養成講座」(講師：町福祉保健課の6名の方々)】

3日に、4年生は、美郷町福祉保健課から6名の講師の方々をお招きして、認知症サポーター養成講座を行いました。講師の方々から、「認知症とはどういうものなのか」「認知症の人の気持ち」「認知症のお年寄りへの接し方」などを、分かりやすいお話や絵本の読み聞かせ、クイズなどで学ぶことができました。これらの活動を通して、これまで何となく聞いていたことがはっきりと分かってきた子どもたちは、認知症の方々の不安な気持ちを理解するとともに、実際に接する時は「驚かせない」「急がせない」「プライドを傷つけない」という「三つのない」を守っていくことを覚えることができました。

前回の高齢者疑似体験や車椅子体験に続いて、福祉の勉強をした4年生は、「みんなに優しく接していきたい」「みんなを支え合って生活することが大切だ」という思いを強くしているようです。今後の生活の中でもこれらの経験を生かしてほしいものです。



【5年「お米づくり学習会」(講師：JA秋田おばこの3名の方々)】

3日に、5年生は、JA秋田おばこさんが提供する「お米づくり学習会」に参加しました。JAさんが提供してくれる活動は、「田植え」「生き物調査」に続く第3弾となります。今回の活動は、今、5年生が行っている社会科の農業生産の勉強にも役立つ学習会となりました。

当初は、圃場に行って稲の生育具合を確認する予定でしたが、雨天が心配されたため理科室での学習会となりました。JAの方が圃場からもってきてくれた稲を観察した子どもたちは、一株の穂の数も増え、青々と元気に育っている様子を見てほっとしたようでした。

今回の学習会では、「お米ができるまで」の基本的な学習から始まり、「農業の役割」や「農業の課題」といった、農業を取り巻く社会の様子にまで踏み込んだ内容を分かりやすく説明していただきました。

日頃、何気なく口にしているお米は、どのような人たちが関わって生産されているのか、また、農業と私たちの住んでいる地域はどのようにつながっているのかを考えていくことが、将来の安定した食糧供給につながることを教わった子どもたち。今回の学習の中で考えたこと生かし、自分にはどんなことができるかを考えて関わっていくことが大切であると学ぶことができました。

